

衆議院内閣委員会ニュース

平成 21.6.24 第 171 回国会第 15 号

6 月 24 日（水）第 15 回の委員会が開かれました。

- 1 内閣の重要政策に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件
- ・河村国務大臣（内閣官房長官）、佐藤国務大臣（国家公安委員会委員長、地方分権改革担当大臣）、野田国務大臣（科学技術政策担当、食品安全担当、消費者行政推進担当大臣）、小淵国務大臣（少子化対策担当、男女共同参画担当大臣）、宮澤内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

松 浪 健 太君（自民）

- ・消費税率引上げに対する国民の理解を得るために、例えば道州制導入による人件費等削減の見通しを示すなど、政府として歳出削減の数値目標を示すことが必要ではないか。
- ・自動二輪車運転の安全確保について、運転者の乗車用ヘルメット着用方法の指導及び取締り方針について伺いたい。また、白バイ隊員の胸部プロテクタ着用を導入した経緯及びその効果について伺いたい。
- ・自動二輪車用 ETC の供給不足により、地域によってすぐ購入できない事例が生じている。このことに対する国土交通省の対応方針を伺いたい。

楠 田 大 蔵君（民主）

- ・三笠フーズ等により、事故米穀の不正規流通問題が起きたが、事故米穀の回収及び流通の現状について伺いたい。
- ・破産した三笠フーズの事故米穀等の在庫処分について、結果的に地元が負担するということになるおそれはないか。また、国はどのように対応するのか、野田国務大臣の考えを伺いたい。
- ・科学技術人材育成について、現状と課題を伺いたい。また、ティーチングアシスタント（T A）・リサーチアシスタント（R A）制度等の大学院生への経済的サポートの現状について伺いたい。

西 村 智奈美君（民主）

- ・総務省は「配偶者からの暴力の防止等に関する政策評価」の結果及び勧告について、今後どのようにフォローアップをしていくのか。また、当該政策評価において保護命令制度に係る警察の対応についての評価が行われていないのはなぜか。今後評価を行う必要性があると考えているのか。
- ・デートDVに対して政府がこれまで行ってきた取組及び今後の取組について伺いたい。また、DV防止法を改正

してデートDVも含める必要があるのではないか。

- ・デートDVについて若年層への予防教育の重要性をどのように考えているか。
- ・裁判員制度の開始を踏まえ、性犯罪被害者のプライバシー保護及び二次被害の防止のためのサポート体制を整備する必要性についてどのように考えているか。

重 野 安 正君（社民）

- ・いわゆる「足利事件」における冤罪被害者に対し、国家公安委員長が直接会って謝罪する必要があると考えるが、佐藤国家公安委員長の見解を伺いたい。また、自白を強要する取り調べがあったかなど、当時の捜査や取調べの実態を明らかにすべきと考えるがいかがか。
- ・取り調べ監督官制度について、試行期間中に自白の任意性に影響を与えた事例等の件数やこれに対する処分状況、今年4月からの本格実施後の現状について伺いたい。
- ・いわゆる「飯塚事件」において、足利事件と同様の方法によるDNA鑑定等により死刑が確定した死刑囚について、再審請求の準備中であり、かつ、鑑定結果に食い違いがあったにもかかわらず死刑が執行された理由を伺いたい。

笠 浩 史君（民主）

- ・平成20年まで、自殺者数は11年連続で30,000人を超えている。政府も対策を講じているにも関わらず、自殺者数は減少せず、深刻な状況が続いているのはなぜか。
- ・地域自殺対策緊急強化基金は3年間限りのものであり、中長期的・継続的な取組ができるのか不安がある。また、地域の実情に合わせたものにする必要があると考えるが、野田国務大臣の見解を伺いたい。
- ・まず、自殺の実態解明をする必要があると考えるが、自殺者のうち、うつ病等の精神疾患による病院受診歴のある者はどれくらいいるのか。また、病院で受診したにも関わらず自殺してしまった人が多数いる原因は何か。

吉井英勝君（共産）

- ・京都の世界遺産の緩衝地帯において、遺跡や遺構の有無を確認しなくても大規模な開発を行うことが可能なのか、文化庁にお伺いしたい。
- ・宮内庁が管理する陵墓等について、学術的な観点であれば、立入り調査を認めるべきではないか。また、文化財保護の観点から、古墳の外濠等を含め広く保護すべきと考えるがいかがか。
- ・世界遺産として登録された地域又はこれから登録を目指す地域における文化財保護について、河村内閣官房長官の考え方をお伺いしたい。